

地球環境高等学校 通信教育実施計画

科目名 (単位数)	日本史探究 (選) (2単位)		担当者名	田澤 直人		
対象年次	期別	必要面接時数	レポート数			
3 学年	通年	2 - 14	6			
科目の概要	近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
科目の目標	【知識・技能】 日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し、諸資料から日本の歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。					
	【思考・判断・表現】 日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などに着目して、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
	【主体的に学習に取り組む態度】 日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持ち、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。					
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回		レポート回	試験範囲
			通常型	週3日型		
	近現代社会の展開①	歴史に関心を持ち、理解する。	1	3	1	前期
	近現代社会の展開②	歴史に関心を持ち、理解する。		2	1	
	国際社会のなかの日本	歴史に関心を持ち、理解する。		2	1	
	第二次世界大戦と日本	歴史に関心を持ち、理解する。		2	1	後期
	第二次世界大戦と日本	歴史に関心を持ち、理解する。		2	1	
アジア太平洋戦争の勃発	歴史に関心を持ち、理解する。	1	3	1		
評価方法	成績評価は、レポート・スクーリング・試験によって決定する。 ○レポート：全6回。教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 ○スクーリング：年間計画に従い、スクーリング・実技を実施する。 ○試験の得点：レポート7割、スクーリング3割で出題をする。20点未満は追試。					
単位の取得	① レポート：締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ② スクーリング：年間 2時間出席すること。 ③ 試験：前期試験、後期試験を受け、合格をすること。					
使用教科書等	教科書：日本史探究 学習書：					
学習上の留意点	スクーリングの進行に合わせ復習をし、レポートに取り組みましょう。					